

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 ケーヨー					
代表者名	氏名	實川 浩司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	千葉県千葉市若葉区みつわ台一丁目28番1号					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	56 各種商品小売業				
主たる事業の概要	ホームセンター業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,952	1,873	1,704	1,816	1,615
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,669	3,554	3,157	3,430	3,035
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	27		27	29	32
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	2				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

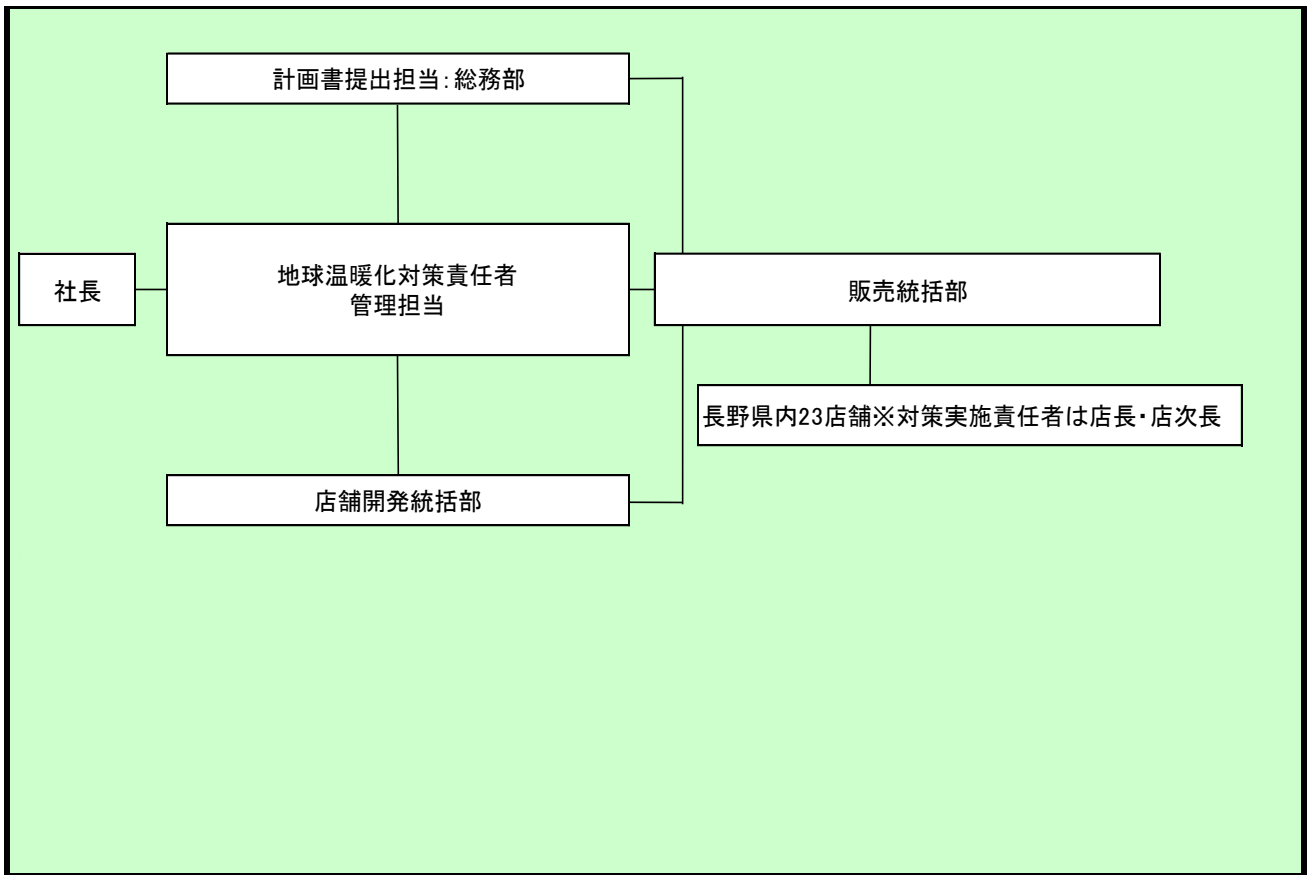
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所：株式会社ケーヨー 担当部署：総務部 所在地：千葉市若葉区みつわ台一丁目28番1号 電話番号：043-255-1111 閲覧時間：9時30分～18時
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 社員教育をおこない、エネルギーのムダな使用を減らし削減を図る。
2. 空調の設定温度の徹底や、時間帯（出社時・開店時・営業中・閉店時）に応じて店内照明の点灯場所を決めて使用することでエネルギーのムダな使用を減らし削減を図る。
3. 店舗に設置している機器の状況（老朽化、非効率等）にあわせて、高効率の新機器導入の検討および実施により、エネルギーのロスを減らすことで削減を図る。
4. 働き方改革、業務効率改善の推進により残業時間を減らし、エネルギー使用量の削減を図る。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

1. サステナビリティ委員会
1ヵ月に一度本部各部から選任されたメンバーで、温室効果ガス排出削減に向けての取組等を検討・報告する会議を実施。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,669	t-CO ₂	延べ床面積	1,137	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	3,669	t-CO ₂	基準原単位	3.23	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	3,554	t-CO ₂	目標原単位	3.23	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	3.13	%	目標削減率	0.05	%	
目標設定に関する説明	<p>1) エネルギーのムダな使用を減らし、温室効果ガスの削減を図る。 2) 空調の設定温度の表示や時間帯（出社時・開店時・営業中・閉店時）に応じて店内の照明を点灯させる場所を決めて使用する。 3) 消費電力の低い機器の導入や電気使用量把握のための個別メーター等を検討し、省エネ対策を図る。</p>						
第一年度	排出量	3,157	t-CO ₂	延べ床面積	1,137	単位	千m ²
	削減率	13.95	%	原単位	2.78	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	3,157	t-CO ₂	原単位削減率	13.93	%	
	削減率	13.95	%				
排出量等の増減理由	<p>1) 働き方改革の推進と連動し省エネルギー化が図れたと推察する。店舗作業の効率化を推進したことで残業時間削減、また、緊急事態宣言による、店舗営業時間の短縮もあり、電気使用量の減少へ貢献した。 2) 空調機をエネルギー効率の良い機種へ入れ替えをおこなったことが温室効果ガスの削減の要因であると推察する。</p>						
第二年度	排出量	3,430	t-CO ₂	延べ床面積	1,137	単位	千m ²
	削減率	6.51	%	原単位	3.02	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	3,430	t-CO ₂	原単位削減率	6.50	%	
	削減率	6.51	%				
排出量等の増減理由	<p>1) 前年度のコロナ対策からの反動（前年度は営業時間短縮を実施）で二酸化炭素の排出量は増加。 2) 屋外LED照明の導入（2店舗）や、県内店舗での空調温度管理の徹底等、省エネに取り組んだが前年と比較して削減には至らなかった。</p>						
第三年度	排出量	3,035	t-CO ₂	延べ床面積	1,137.00	単位	千m ²
	削減率	17.27	t-CO ₂	原単位	2.67	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	3,035	t-CO ₂	原単位削減率	17.33	%	
	削減率	17.27	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>1) 働き方改革の推進、また店舗作業システムを変更したことより作業効率が上がり残業時間が削減され、エネルギー使用量の減少に貢献した。 2) 時間別に店内の照明点灯エリアを制限する、空調温度管理の徹底、空調使用エリアを制限する等省エネの取り組みを進めたことで、エネルギー使用量の減少に貢献した。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110201	日常点検・定期点検	2020～ 2022	6		
2	エネ起	110403	月使用量、月不可変動	2020～ 2022	6		
3	エネ起	130101	設定温度、温度の適正化	2020～ 2022	6		
4	エネ起	150204	適正照度の管理	2020～ 2022	6		
5	エネ起	150303	電力削減	2020～ 2022	6		
6	エネ起	130105	空調機入替(3店舗予定)	2020～ 2022	85	2020	14.7
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	23	3,669	23	3,157	23	3,430	23	3,035
合計	23	3,669	23	3,157	23	3,430	23	3,035

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	27	27	29	32
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄